〔大正十年四月二十二日第三種郵便物認可〕　昭和三年十二月六日　磐城新聞　〔木曜日〕　第二千四百七十七號　（一）

四、五兩年度繼續で 上水道擴張決定

本日急施町會本會議 三大案全部解決

近年異狀な勢を以つて進展しつゝある平町は此處數年來の大發展を見越して市制實現の曉に着手する筈で斯くて平町將來の大發展を計畫でゐるが町當局では總經費三十七萬圓の巨費を計上して上水道擴張工事を計畫町會の一大擴張工事を計畫町會へ提案中で上水道擴張委員會は町將來の爲め結果水道委員は町將來の爲め精細な調査を續けると共に我國に水道界の泰斗茂庭博士を顧問として擴張設計其の他一切の準備事が出來るまで延期して平町の上水道擴張は必然的なものであるとして原案通擴張計畫決定したので昨日は今五日午前十時急施町會を召集原案並に委員會案の報告あつて本會議に入り萬場異論なく委員會案通り可決決定した即ち上水道工事は工費三十七萬圓を投じて來四、五兩年度の繼續事業として着工直ちに縣當局に擴張工事の許可出願をなすことゝなつた

平町役場で 區劃整理 地主と揉める

平町では區劃整理の前提としてこの程町道路の整理組合を行ひこれを臺帳に照合受くる必要上目下設計書を作成中であるが此の結果非常に相違して居取まとめ中である

平驛の改築工事 愈來春二月起工

工費四萬圓を投じて 平町の一美觀

縣改築工事は平町發展と小名濱繁榮に依る平小鐵道で近々改築に決定した事既報の如くであるが此の程本省技師の調査も濟んだので愈々具體化し報ある筈で

有功章を授與さる 全國及東北大博覽會に 好績な本郡の出品

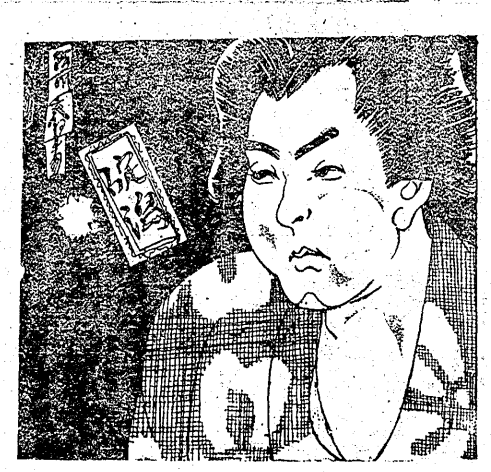
石城郡豐間漁港修築期成同盟會長鈴木倉之助氏並に同村長志賀兼吉願間、遠藤藤之丞氏の三名は同會代表として三日午前十時四十五分發上福知事内務部長に面接して徐かに其場を立去つたのは未だ四つ頃。

なしみの蟇子〻呼んで今

豐間港修築 出縣して陳情

本炭庫建設 濱三郡木同が

慕末秘帖 狂怒乱心 (106) 渡邊默禪作 宮野歌春畝 講談



平署管下 兵事主任會 永年勤續者 記念表彰

平署長の 警視問題 明年から實施

林野組合總會

紙上顧問

七五三の御祝に 子供用品御案内

毛糸　マシット
ラシャ　マント
モヘヤ　マント
ラシャ　オーバー
毛糸　オーバー
毛布　子供
帽子　各種
エプロン
白毛襟巻

その他種々入荷致しました

ツルヤ　電話百四十

ヒゲタ醤油　宮内省御用達　九升樽詰　二リットル瓶詰　醸造元　銚子醤油株式會社

平町田町　特約店　廣瀬支店　電話五四番

新築移轉
耳、鼻、咽喉科（專門）
氣管食道科
平町南町（舊診療所向）電一七〇番
大和田醫院
大和田郡司

新築移轉
耳、鼻、咽喉科
合津醫院
平町仲田町七一（電話五五九）

特賣!!
たひら正宗　福島縣清酒品評會一等賞受領
花春　同優等賞受領
醬油釀造元
鹽屋　山崎合名會社　電話一〇番

食用鳩（カルノー　ホワイトキング　シルバーキング）
プリユウセキセイ　オカメインコ
アカボタンインコ　カルカヤインコ
ダルマインコ　小鳥
一紅鳥　錦花鳥
白文鳥　白十姉妹
育ノコリ小
平町田町本通り
ベニヤ小鳥店

磐城病院改稱
市原病院
平町田町（電話一一四番）
内科、小兒科　市原卯太郎
外科一般、婦人科　市原陸郎
外科、梅毒、淋毒　市原三三男

東京一流の銀行と 七十七平支店 爲替の取引

行員更に四名増して 業務頗る繁忙

石城郡地方の金融業界は磐城銀行に次ぐ平銀行の休業を見て以來極度の恐慌を來し年末を眼前に控え各取引先殊に商業者の焦慮甚だしきものがある、即ち從來東京を初め各地との爲替の取引きは殆むど磐城銀行の獨占であつたが同行が休業以來當地方の銀行に對し不安を抱いた他方各銀行は爲替の取引きをなさず爲めに地方一般取引關係筋に及ぼす

影響甚大なものあつたが七十七銀行平支店は此の財界の重大事に當面し一般取引の便益を計る爲め爲替の取引を開始し東京第一銀行を初め中央都市一流各銀行が悉く七十七銀行平支店との間に然かく圓滑に爲替の交換をなし地方經濟界の危急に處してゐるが斯くの如き事實を見るも七十七銀行の基礎の強固なるを信用の厚きことを窺知するに足るものあり 平町

各取引者は擧げて七十七銀を利用しつゝあると共に同支店では斯くの如く益々業務の繁忙を極めて來たので行員四名を増員し山田支店長、三浦次席以下大童べとなつて行務の擴張進展に努めてゐると

收益税徴税 不成績

平税務署管内

平税務署では十一月末日までに第二期營業收益税徴收を終了し去る三日までこれが整理を行つたがその結果最も憂慮された湯本町は完納その他の町村も略納附濟みとなつたが平町は豫想を裏切り滯納者百八十三名税額三千五百餘圓の多額に達したので町當局では狼狽し税務署と協力百八十三名の滯納者に對し一齊に整理を開始したが平町、長橋町納税組合の如きは全然納附して居ない状態にあると

主家の金を横領して 栗鼠小僧逮捕さる

あたりまへの事だと凄い啖呵 末恐ろしの少年

平署の猪狩刑事が今五日四時頃驛前附近を密行中上野驛下り急行列車から下車した年齢十四五才一見商家小僧態の挙動不審な少年があるので本署に同行せんとしたが同刑事の隙を覗つて件の少年は栗鼠の樣な素早さで逃走したので猪狩刑事は直ちに追跡途に田町通りで引捕へ本署に引致の上嚴重取調た處此の少年は當時東京府下吾嬬町字大畑木炭商佐藤金太郎方雇小僧赤井村大字赤井字瀧不動鈴木平吉二男平助(假名二三)で昨四日正午頃同町皮職工鈴木常松方に木炭數俵を配達し代金三圓五十錢を横領自家に歸らんと逃走して來た者である事自白したが餘罪ある見込で更らに嚴重な取調を續けた處此奴は今年春から同家に雇はれてゐる中同樣な手段で主家から前後十數回に亘り横領活動見物や買喰ひに費消してゐたもので係官の取調にも更らに平氣で「此れ位いの事はあたり前だよ世界中の小僧や番頭が皆んなやつてる事なんだから」と凄い啖呵を切つて流石の係官も呆然とさせてゐた

聯合俵米品評

石城郡四倉大野大浦草野村の一町三ヶ村聯合御大典記念地方産米改良獎勵俵米品評會は來る二十五日から二十七日まで三日間大浦村農業倉庫に於て開催されるが出品五百點であると

縣會特信

漁港と銀行合同

鈴木、古川氏質問

本縣々會三日四日午後本郡選出鈴木辰三郎、古川傳一の兩氏が試みた質問の大略左の如し(知事の答辯略)

鈴木辰三郎氏

縣がこの苦しい財政にあり乍ら四十七萬圓の新規事業を計劃したことにつき當局の大骨折を感謝すると前提し行詰れる縣財政の救濟策として人材を登用し人件費の節約をはかられんことを願ふ次に土木行政につき山形境の栗ヶ峠を一萬圓の經費を計上し指定工事として提案したる理由をお訪ねしたい

と知事の痛い所をやんわり突き込み續いて市町村土木費補助の削減を突き又小名濱商港計劃であるが石城郡石城郡は小名濱商港がある爲めその他の土木事業は縮少せねばならぬと云ふことを往々耳にするが小名濱商港は内務省の港灣査定會に於て決定し商港として修築することになつたものであれば小名濱港は國家對縣の問題であり即ち石城の小名濱ではなく福島縣の小名濱であるからその他の土木費も他郡市同村に補助されたい

と大見得を切り次で漁港修築費補助問題につき

請戸、江名、中之作、豊間漁港修築補助は市町村土木費補助規程に依る補助であるから三萬圓位な少額な補助費では到底不足であり縣は參事會の代決或ひは明年度豫算に引き續き繼續すべきが當然であるから縣はその意志を有する否や

と質し公納金制度につき突つ込み縣營電氣問題につき縣は行詰れる財政の救濟策として多年縣營電氣を計劃して來たが縣はこの問題につき何の程度までの調査をなしてゐるか

と質し降壇

古川傳一氏

落ち付きのある態度と底力ある音吐を以て刻下の最大問題たる財界安定策について

銀行の休業破綻によよ縣下各經濟界に及ぼした影響は極めて甚大なるものであり、地方行政官としての知事はこの財界安定策につき如何なる方策を有するやこの席上に於てくはしい御說明されたい

知事は先に赴任早々財界安定は眞つ先にすべきであると縣下銀行業者を一堂に召集し大評定をなしたではないか、然るにその後財界の動搖不安は更に靜まる處なく益々動搖不安を來してゐるではないか本縣の經濟界は現在のまゝ推移するときは如何なることになることであるかと云ふことを案ずるものである、この經濟界の一大危機に際し知事は如何なる抱負と意見を有するや知事は銀行合同問題につき如何なる根本方針を有するや、銀行の動搖に依り郵便貯金と、また他府縣銀行支店のみが徒らに膨大し他府縣及び中央に本縣の資金が流出してゐる現狀に鑑み知事の御懇切なる說明を願ひたい、此財界動搖に依り各種産業の萎微沈滯をきたし特に農村救濟は極度に逼迫してゐるのである、この農村救濟策としては特殊銀行の縣農工の活動に俟つの外ないのである、「現在の農工銀行の營業狀態を見るに街厚く農村に薄いのである」直接監督の任に當る農工銀行をして將來農村にあつからしめ農村振興に資される意志なきや

と滔々約二十分に亘り詳細に質す。

金欠病や借金病に 特効のある靈藥

郡農會で發見調製法を 全郡下に配布

秋の刈入時も終つて地方農村は漸次農閑期に入らんとしてゐるが石城郡農會當局では昨年度からの計畫である東北のデンマーク農村、理想郷を建設するのには郡農會當局其の他の指導は勿論だが結極は農村自体の自覺に俟つ外はないので此れから來春二、三月までの農閑期を利用して農村の自覺向上をうながす爲め各種の研究會或は講話講演會等を多數開催すべく目下準備に努めてゐるが此の第一着手として郡農會では農村向上は農民の身体健康にあると言ふ標語にもとづいて次ぎの樣な藥を創製し調製法使用法効能等を印刷に附して全郡下に配布する事なつた「一藥は効能書程効くか効かぬか先ず服用してから」と新藥發見の大山技師が發表して調製法の原料は第一に人情を八匁次ぎに朝起の十匁、勞働十匁、儉約が五匁、忍耐が十二匁、育兒、教育が十二匁此の割合で原料の集まつたならば次ぎには分別の鉢に入れて心棒の摺こぎで摺り思案篩にかけて粉末にして上汗の油で塗り合せ丸藥とする此れが出來たら毎朝午前四時から五時までの間に清水を以つて年令の數程服用するとさて此の効用は身体だるく、苦しく借金苦面の差込等には特効あり女房の膨れ面病や倅に嚙られたスネ傷などには最適八百八病だが四百四病は勿論何んと言つても金欠病や借金病殊に慢性でもあればあるだけ効目が著しいと語る

春を賣る女給の 恐怖時代出現

年の瀬も迫つて 光る警察の目

平町の昨今は御盛事によつて幾分景氣は盛り返すものとして期待されて居たにもかゝはらず、一向に景氣挽回の兆も見えず、案に反して益々景氣が惡い傾向にあるが殊に平町市内に於ける花柳界やその他飲り金をあてにして營業をつゞけてゐる方面の沈滯ぶりは豫想外なものがあり全く青息吐息の有樣で、その内でも若者を對手のカフエーの内幕は全く悲慘な狀態、辛うじて營業を續けてゐるといふお話にもならないところがある、市内には約十餘軒のカフエーがあるがそこに雇はれてゐる脂粉の香をたゞよはして媚を賣る女給連は約三十餘名を數へて居るが、定評あるカフエーは別として其他の小さなカフエーの女給連はこの不景氣に酒場のクヰンの名もそれ程に權威がなくなり、た客があるにしてもよくて五圓位で切り上げて行く客ばかりでチップなどは僅なもので白粉代も稼げないといふ目もあてられない狀態である、かうした場末のカフエーにその日その日を酒と煙草で送つてゐるものは何れも無給であり客よりのチップが衣類代となるのでかやうな不景氣の爲めにエプロンの洗濯代も稼げぬ女給連はさもしい心を起して身を捨てゝこそ浮ぶ瀬もあれの古諺を地で行き暗に隱れて怪しげなる行動をとりしきりに客連を誘惑して春を賣りその代償に依つて女給としての表面ばかり華やかな生活を爲して居るこれは女給の内幕ごし公然の秘密とまでなつてゐることであるが最近その行爲は酌婦以上のものがあり夥しい害毒を流してゐるので當局でもすて置けずとなし今後不良行爲を働く女給連があればどし〱處分することになつて目下調査中で不良女給の恐怖時代が出現した譯である

官有林新道路

平營林署では石城郡石住村官有林に新らしく林道を開鑿したが愈々竣工したので本省より田中技師出張し平岡平營林署長と共に四日實地踏査をなした

蓬田氏長逝

葬儀は明六日

石城郡内郷村宮蓬田光匡氏は三日夜來急性の腹膜炎に冒され自宅に治療中の處四日午後五時遂ひに永眠し他界の客となつたが氏は田村郡小野新町の人にして大正十年福島民友平支局に入り十一年金子信三氏の後を襲ふて福島民友新聞平支局長となり堂々の筆陣を張つて磐陽の文壇を賑ふ退社後磐城炭礦健康保險組合に勤務し傍ら思想問題の熱心な研究家にして皇室中心主義を標榜し建國會幹事の席にあるに一面辯論の雄者として重きをなされてゐた前途有爲の士で本紙上に屢々執筆した熱心な寄稿家であつた享年三十七才葬儀は六日午後三時内郷村宮自宅出棺瑞寶寺に於て執行すると

不成績を叱られて 小學生が縊死

自宅裏山の松林中に 飯野村の出來事

石城郡飯野村大字上荒川字長尾二〇八森次郎二男飯野小野校尋常科三年生渡邊鶴松(一二)が三日朝學校に行くと家出したまゝ行方不明となり夕刻至るも歸宅せぬので徹宵所在捜査中であつたが四日早朝同人は裏山松林の松の木に自分の兵兒帶をかけ覺悟の自殺を遂げてゐたのを實父森次郎が發見大騒ぎとなり近所の人手をかりると共に醫師を招き應急手當を加へたが蘇生しなかつた原因は同人は常に學校に行く事が嫌ひで家人に叱られがちであつたが當日も學校に行くのが嫌ひだと云つたので父親が腹を立て叱責したので子供心にも自分はこんなに學校が嫌ひでは將來一人前の人間になれないと考ひて悲觀の結果自殺を企てたものであると

爆裂團事件 一段落か

武田上席檢事 本日出福す

平署の機敏を極めた大活動に依り一網打盡檢擧を見た内郷村の爆裂團事件は其の後捜査本部を内郷村に移し平署では引續き嚴重な捜査を進めてゐるが團長以下幹部の中村岩十郎(三四)西村武一(假名三〇)佐藤仙十郎(三二)篠田條吉(假名二七)大串忠(三二)齋藤榮(三四)の六名を殘し廿三名全部を釋放前記六名は引續き嚴重取調中であるが平檢事局武田上席檢事は今五日出福した此れは同事件に對する島倉檢事正の指揮を仰ぐためであるらしく此[illegible]數日ならずして全部の解決を見るものと豫想されてゐる

季節物が多い 平驛の遺失品

十月迄に二千八百余件 帽子類が第一位

平驛待合室や到着列車内の遺失物、忘れ物を調べて見るに本年一月より十月迄に驚く勿れ二千八百十四件であつて内引渡濟みのもの四百九十四件で常磐線取り下し驛に於ては遙かに水戸驛を越し、重に七、八月は忘れ物など多く八月中は三百八十八件を數へ一番少ない二月でさへ二百五十二件に上つてゐるが、面白い事には季節と忘れ物が比例してゐるが夏時になれば帽子や婦人のパラソル、近頃の樣に寒くなれば手袋、襟卷などに雨天の時は傘類が多く一年を通じて帽子、風呂敷が第一位をしめてゐるが一般に必要の物品が多く厄介になつてゐる。

かみくづ

◆劍道の心得あるものは、身に一分の隙がないから、イツ何時敵に出會つてもヒケを取らないとの事だ、淸奴が三段の達人ときいたが劍道の方でなく遣り繰算段がうまいといふのだから、ヘマな目にあふはづだ◆それが梯子の中途での遭遇戰なんだからナンとも遣り繰りが付かず、額の毛をウント抜かれてしまつたとコボシてた、尤もその時は痛いので目からもコボシたつて事だがアノ目だから一粒グラム位あつたらう◆誰だへきのう梅の湯の前で淸奴に會つても氣が附かなかつたなんて言つてるのは額は額でも色々あるよ。

野犬を撲殺

平警察署管内三町十九ヶ村の野犬撲殺は來る十日から來月十八日まで一町村平均三日間位の豫定で執行される

阿部家不幸

嚴父乙三郎氏長逝

平町才槌小路阿部政右エ門氏嚴父乙三郎氏は兼ねて胃腸を病み東京赤坂南胃腸病院に入院加療中の處四日午後一時永眠し遺骨は今五日夜長息政右エ門氏その他に護られて歸宅する筈で葬儀その他は未定であると

醫院開始

◆内臟外科 ◆外科一般 ◆花柳病科

平町田町大通り 安齋外科醫院 電話四二六番

電話開通披露 七五二番

平窪村辰ノ口本家 松本德一

◆吉例年末謝恩第二回興行◆

彌次喜多大會

大日活超特作大劍喜中

主演 酒井米子 河部五郎 大河内傳次郎 新妻四郎 浦邊粂子 葛木香一 ◎御オールスター總出演

第一篇 尊王の卷 時世…菊は咲く唄ふ彌次喜多は尊王の叫びあつた (全十卷)

第二篇 韋駄天の卷 勤王の士は怪撰組と爭つた、彌次喜多は韋駄天の如…… (全十卷)

第三篇 伏見鳥羽の卷 戰鬪…血煙慘状…彌次喜多は逆上して錦旗をひるがへし? (全十卷)

當ル六日ヨリ上映 普通席金十錢 平館

レコードハ此のマーク!を

HIS MASTER'S VOICE
TRADE MARK REGISTERED

肉聲のビクターレコード 販賣店 會田時計店 平町四丁目(電話三六三番)

店員募集

預金の賣買を致します

▽賣買の手續は無料[redacted]致します

(ト) 平町仲田町 駒場株式店 電話四六五番